

滋賀県代協

豪雨被災地に支援物資
タオル1,700枚寄贈



山口会長(左)と高橋代表理事



左からは是洞専務理事、山口会長、馬庭副会長

滋賀県代協(山口裕貴会長)で、27日からの山形豪雨により被災した人々を支援するため、同代協会員および滋賀県内の損保各社は、コロナ禍で地球環境・社会貢献活動はじめる中、7月め各種イベントの開催が難しくなる中、7月

大崎市松山千石のボランティアで約25箱を宮城県、豪雨被災地での「タオルは新品でも使い古しても一枚でも多くほしい」という声を聞きつけてすぐに呼びかけを開始し、約10日間でタオル1500枚、バスタオル200枚、計段ボール箱40箱を集めた。

このうち25箱を8月5、6の2日にかけて、コロナの影響で直接被災地に届けられなかったため、隣県にある四つ葉に山口会長、馬庭将行副会長、是洞成孝専務理事の3名が車で片道約850kmを走行し、直接届けた。また8月8日には馬庭副会長が岐阜豪雨の被災者支援で段ボール5箱分を届け、8月18日には熊本豪雨での被災者のため15箱分を佐賀県のボランティア団体に送付により寄贈した。